

# ゆめごよみ風だより 101号

けーえすけーびー つうかん ごう ねん がつ にち はっごう  
K S K P 通巻12355号 2022年12月15日 発行

とくていひ えいりかつどうほうじん かぜきんじむきょく  
特定非営利活動法人 ゆめ風基金事務局

おおさかしひがしよどがわくひがしなま  
(〒533-0033大阪市東淀川区東中島1-13-43-106) TEL06-6324-7702

いんでつくず=もくじ  
INDEX

「どこか」を手繰り寄せる

だい かい かぜ わたし せんきょ  
第17回ゆめ風であいましょう「私たちの選挙」

ごうきねんぎだんかい こうへん  
100号記念座談会「後編」

りれーえっせい さいがい しょうがいしゃ だいななじゅうよんかい  
リレーエッセイ 災害と障害者 第七十四回

ねん どうかくていしんこく きふ きんこうじょ かんが  
2022年度確定申告で「寄附金控除」をお考えなら/

さいがい かぜきん しえん しんじんあいさつ  
コロナも災害！ゆめ風基金は支援します。/新人挨拶

ねん がつ ふくしまけんおきじしん  
2022年3月 福島県沖地震

かんぱをいただいた団体/事務局のうごき

かいけいほうこく  
会計報告

かくち かぜ  
各地からの風だより

「どこか」を手繰り寄せる

りじ  
理事 こばやし としあき

きおく にちじ ばしょ さだ だんべんてき はなし ないよう かた だんせい  
記憶はおぼろげです。日時も場所も定かではありません。でも断片的な話の内容とそれを語る男性の

ひょうじょう いま わたし きおく ふち ひがしにほん だいしんさい はっせい ねん がつ にち  
表情は、今も私の記憶の淵にとどまっています。東日本大震災が発生した2011年3月11日から

すうじつ ご いちめん がれき か まち はいけい だい だんせい た  
数日後のテレビニュースでした。一面瓦礫と化した街を背景に 30代くらいの男性がぽつんと立って、

さだ　　む　　かれ　つま　ふたり　おさなむすめ　つなみ　　かぞく　なか　じぶんひとり  
差し出されたマイクに向かっています。彼は妻と2人の幼い娘が津波にさらわれ、家族の中で自分一人

い　のこ　　かぞく　おも　で　しな　もと　じたく　　ばしょ　しゅうへん　さが　ある  
が生き残ったこと、家族の思い出の品を求めて自宅があった場所の周辺を捜し歩いていることなどを

たんたん　かた　　むすめ　　いっしょ　す　　はなし　はじ　　ないよう　おも　だ  
淡々と語ります。それから娘たちと一緒に過ごしたころの話を始めました。内容は思い出せません。でも

ひょうじょう　かた　くち　かれ　お　　じょうきよう　　かんが　　れいせい　み　　わたし  
その表情や語り口が、彼が置かれた状況からは考えられないほど冷静に見えて、そのことに私はショ

う　　さんにな　こ　　いちばんした　むすめ　よんさい　　りこん　べつり　けいけん　　わたし  
ックを受けました。3人の子どもの一番下の娘が4歳のときに離婚と別離を経験している私は、そのとき

しんしん　だめーじ　おも　かえ  
の心身のダメージを思い返していたのです。

わたし　かれ　　と　みだ　かた　　かんが  
私が彼だったら、はたしてこれほど取り乱さずに語ることなどできるだろうかと考えました。ひょっとし

しゅざい　　とき　　まわ　　つか　　し  
たら取材クルーに「こんな時にカメラなんか回すな！」と掴みかかったかも知れません。そうでなくても、

あたま　なか　　こんらん　　あいて　つた　　はなし　　がれき　なか　だんせい  
頭の中が混乱してきちんと相手に伝わる話などできなかつたでしょう。ですから瓦礫の中の男性がとて

きょうじん　せいしん　も　ぬし　　み　　すこ　　ちが　かんが　　う　　かれ　じつ  
も強靱な精神の持ち主のように見えました。でも、少しして違う考えが浮かんできました。彼は実はあの

かた　い　がい　　じしん　たも　すべ　　かな　　そうりょう　げんど　こ  
ように語る以外に自身を保つ術がなかったのではないか、悲しみの総量が限度を超えると、かえって

かんじょう　うち　ふか　おさ　こ　　げんば　　とお　はな　　えいぞう　のぞ　み　　もの  
感情は内深く抑え込まれてしまうのではないか、現場から遠く離れて映像を覗き見ただけの者には、それ

れいせい　　み　　おも  
が冷静そうに見えたのではないかと思ったのです。

じっさい　　わたし　　じぶん　けいけん　かさ　　しんじょう　　そうぞう  
実際はどうだったのか分かりません。私は自分の経験と重ねながら彼の心情を想像しようとしてしま

が、それは易しいことではありませんでした。別れて暮らすことと突然命を奪われてしまうことの間には

おお　だんさ　　ににんしやう　みぢか　　さんになしやう　　たにん　　し　　ふた  
とても大きな段差があります。そこには二人称(身近なあなた)と三人称(どこかの他人)の死という二つの

し　ちが　　げんぜん　　そんざい  
死の違いが厳然と存在しています。

とつぜん　りふじん　わざわ　　しぜん　　かぎ  
突然で理不尽な災いは自然がもたらすものに限りません。ウクライナをはじめアフガニスタンやシリア

あらせ　　つづ　　おびただ　　かず　　なんみん　　う　　おさな　こ　　う　　いのち　うしな  
やミャンマーなどで争いが続き、夥しい数の難民が生まれ、幼い子どもが飢えて命を失っています。

せ　かい　　さんになしやう　　し　　こんなん　　み　　ひとり　　じぶん　かさ　　かな　　いきどお  
世界はそれら三人称の死や困難に満ちています。その一人ひとりに自分を重ねて悲しんだり憤ったり

かな　　そうりょう　　ま　　じぶん　　お  
することなど、とてもできません。そんなことをすれば、悲しみの総量であつという間に自分が押しつぶさ

れてしまいます。

しかし、<sup>さん</sup>三人称の死や<sup>し</sup>困難を一人称(私)や二人称のそれに近づけようとする<sup>ど</sup>努力は決して無駄では  
ない<sup>おも</sup>と思います。作家の<sup>さつ</sup>ひらの<sup>けい</sup>けい<sup>いちろう</sup>さんが<sup>きん</sup>近著『<sup>し</sup>死刑<sup>につ</sup>いて』(岩波書店)で、<sup>し</sup>死刑<sup>そん</sup>存置から  
<sup>はい</sup>廃止に<sup>し</sup>主張を<sup>か</sup>変えた<sup>じぶん</sup>自分を<sup>かえ</sup>振り返りながら<sup>か</sup>こんなことを書いています。

「<sup>みつ</sup>三つ目の<sup>め</sup>赤の<sup>あか</sup>他人の<sup>た</sup>死<sup>し</sup>」については、<sup>わたし</sup>私たちは<sup>ほん</sup>本当のところ、<sup>じぶん</sup>自分のことのように、あるいは、  
<sup>あい</sup>愛する人のことのように<sup>かん</sup>感じる<sup>にんげん</sup>ことができない<sup>かん</sup>ものです。人間は<sup>かん</sup>そういう<sup>そな</sup>感受性を<sup>おも</sup>備えていないのだと思  
います。(略)しかし<sup>りやく</sup>二〇一一年に<sup>ねん</sup>発生した<sup>は</sup>東日本<sup>は</sup>大震災のように、<sup>きょう</sup>共同体が<sup>おほ</sup>大きな<sup>ひげ</sup>悲劇に<sup>み</sup>見舞われると、  
<sup>じぶん</sup>〈自分の死〉ではなくても、<sup>こころ</sup>とても<sup>いた</sup>心を<sup>じぶん</sup>痛めること<sup>おほ</sup>になります。自分自身も、<sup>ひげ</sup>大きな<sup>み</sup>悲劇に<sup>み</sup>見舞われた  
<sup>きょう</sup>共同体の一員として、<sup>いのち</sup>もし<sup>う</sup>命を<sup>じぶん</sup>奪われたのが自分<sup>にく</sup>だったら、<sup>あい</sup>肉親などの<sup>ひと</sup>愛する人<sup>そう</sup>だったらと<sup>ぞう</sup>想像をする。  
そのことを<sup>つう</sup>通じて、<sup>い</sup>意識的、<sup>むい</sup>無意識的を<sup>と</sup>問わず、<sup>じぶん</sup>自分自身の問題として<sup>たぐ</sup>手繰り<sup>よ</sup>寄せようとし、<sup>じゅう</sup>ことの<sup>だい</sup>重大さ  
を<sup>かん</sup>感じ<sup>ページ</sup>とろうとします」。(12～13頁)

ここで<sup>ひらの</sup>平野さんは<sup>に</sup>日本という<sup>くに</sup>国を一つの<sup>ひと</sup>共同体と<sup>み</sup>見なしているようですが、その<sup>きょう</sup>共同体は<sup>くに</sup>国に限るわけ  
ではなく、<sup>ちきゅう</sup>地球全体であつたり<sup>み</sup>身近な<sup>ち</sup>地域社会であつたり<sup>ひと</sup>します。一言で「<sup>どこ</sup>どこかの<sup>た</sup>他人の<sup>し</sup>死や<sup>こん</sup>困難」と言  
つても、その「<sup>どこ</sup>どこか」は<sup>げん</sup>現場から<sup>は</sup>発信される<sup>じょう</sup>情報の<sup>りょう</sup>量や<sup>しつ</sup>質によって<sup>とお</sup>遠くにも<sup>ちか</sup>近くにも<sup>だい</sup>なります。大震災の  
<sup>ちよく</sup>直後、<sup>が</sup>瓦礫の中の<sup>なか</sup>男性に<sup>だん</sup>マイクを<sup>まい</sup>向ける<sup>く</sup>記者には<sup>む</sup>かなりの<sup>きしや</sup>勇気が<sup>ゆう</sup>必要<sup>ひつ</sup>だつたでしょうが、そこに「<sup>どこ</sup>どこか」  
を<sup>すこ</sup>少しでも<sup>しちやう</sup>視聴者の<sup>にち</sup>日常に<sup>ちか</sup>近づけようという<sup>ほう</sup>報道する<sup>もの</sup>者としての<sup>じぶ</sup>自負があつたのは<sup>たし</sup>確かだ<sup>おも</sup>と思います。こ  
の「<sup>ゆめ</sup>ゆめごよみ<sup>かぜ</sup>風だより」が<sup>く</sup>これまで<sup>かえ</sup>繰り返し<sup>ひ</sup>被災した<sup>とう</sup>当事者の<sup>なま</sup>生の<sup>こえ</sup>声を<sup>とど</sup>届けてきたのも、それと<sup>かさ</sup>重なる<sup>おも</sup>想  
いがあるからでしょう。「<sup>どこ</sup>どこか」を<sup>じぶん</sup>自分に<sup>たぐ</sup>手繰り<sup>よ</sup>寄せるのは<sup>かん</sup>簡単なこと<sup>たん</sup>ではありません。でもそれは<sup>た</sup>た<sup>ぶん</sup>ぶん  
<sup>にんげん</sup>人間にしか<sup>き</sup>できない、<sup>きぼう</sup>希望<sup>さぎ</sup>につながる<sup>おも</sup>作業だ<sup>おも</sup>と思います。

第 17 回 <sup>かい</sup>ゆめ風<sup>かぜ</sup>であいましょう <sup>わたし</sup>「<sup>せん</sup>私たちの<sup>きょう</sup>選挙」<sup>が</sup>共催:<sup>が</sup>カタログハウスの<sup>がっこう</sup>学校

理事 <sup>り</sup>き<sup>じ</sup> <sup>き</sup>きたか <sup>ち</sup>あき

9月3日、こむろ ひとしさん、おおしま あらたさん(映画監督)、ダースレイダーさん(ラッパー)の鼎談

とオオタスセリさんのパフォーマンス、小室さん、こむろゆいさん、かわの しゅんじさんの音楽という陣容

で開催。まず、小室さんの「7月に国政選挙がおわったが、私たちの選挙とは何なのか考えてみたい」

との言葉でスタート。

「東京都知事選を思い出すと、討論会もなく、コロナ対策に取り組む知事としてテレビに出続けた現職

の無批判な選挙報道になっていたのでは」とダースさん。自ら各地選挙戦の現場を見て回り YouTube

動画で発信する。

大島さんは「一般選挙では投票終了時に大きく報道するのが常なのに、衆院選前の与党党首選挙の

時は洪水のような報道を続けたことで結果的に与党宣伝となっていた。選挙戦を取材していて、有権者の

傾向として、同調圧力に弱く少数派になりたくない、威圧的な言葉を発する政治家になびき、誰かに従い

たい気持ちが強くなっていることがとても切ない」と話す。

ダースさんは「国民に十分な情報を伝えずに、何かを決めさせるというのは一番の問題点だ」と語る。

「岸田政権発足時の支持率60%に驚いた。政策を判断するのではなく、何となく良さそうだから支持

するという意見が多いのはどうなのか」と。それを受けて小室さんは「その先に、自分たちはどんな世界に

住みたいかというものがなければね」。

後半は小室さん、ゆいさん、河野さんによる音楽の時間からスタート。映画「獄友」の主題歌「真実・

事実・現実あることないこと」、そして「だれかが風の中で」。さすがの渋さにうっとり。

続く鼎談「ドキュメンタリーとエンターテインメントの狭間で」。「作品は後世の裁きを受ける宿命。政治や

行政も同じで常に後世に検証されるという覚悟が大事だ」、「言葉と歌は違う。歌うときに言葉とは限らな

いものが歌に乗り移る」などの印象的な話が続々。

フィナーレは、小室さんの音楽に乗せて、ダースさん圧巻のラップ。牧口さん、戸田代表が話した子ど

も時代の三角ベース野球のルールづくりに着想し即興で披露。「帰れ帰れとすぐに人は言うけど、帰る

場所はあるのか？」「俺たちはどこに行くのか？」などの劇的な言葉に「涙腺決壊」が相次いだ。ダース

ん談・基本的に困ってる人がいたら助ける。それができていたのなら帰る場所はそこだ。「お前が打って、

俺が走るよ」そういう場所があったなら、そこに帰るべきだと思った。

< \* 写真: 右から こむろ ひとしさん、ダースレイダーさん、おおしま あらたさん 写真 / よしざき たかゆき >

このイベントを企画してくれた かみお きょうこさんが急逝されて、悲しみにくれています。

いままでありがとうございました。天国でゆっくりたのしく、そしてゆめ風も見守ってください  
まきぐち いちじ

## 100号記念座談会 後編

ゆめ風基金の機関紙「ゆめごよみ風だより」が前号で 100号を迎えました。

今回、発足のきっかけとなった阪神淡路大震災当時のことを知る 3人にお話を伺いました。今回は前号

に続く後編です。

日時 2022年7月12日(火)

場所 たくところべ 元は被災地障害者センター

参加者

なぎ ひろゆき 淡路島出身。実家は全壊。震災当時は大学生で大阪住まい。

1996年より被災地障害者センタースタッフ。現在、神戸市長田区にて車いすです自立生活中。

いなもと すまこ 広島県出身。1995年4月から被災地障害者センター(後に「たくところべ」)でボランティア

ア、その後スタッフとして活動。現在、介護事業所「たくと」職員として働く。

まきぐち いちじ(前ゆめ風基金代表理事)

司会: やはた たかし(ゆめ風基金事務局長)

八幡: ゆめ風基金が一番会員数を伸ばしたのはカタログハウス社の『通販生活』。えい ろくすけさんと

まきぐち たいだん けいさい どくしゃ はんきょう おお ふ  
牧口さんの対談が掲載されて、読者からの反響が大きくカンパが増えた。

まきぐち たいだん  
牧口: 対談はやまだ たいちさん、つくし てつやさん、ふじもと ぎいちさんと続いた。この企画は編集部

のかみお きょうこさん。その後の東京イベント「ゆめ風であいましょう」につながった。

やはた とうじ はなし もど いま こうべ しんさい し ひと すく なぎ  
八幡: 当時の話に戻りますが、今は神戸でも震災を知っている人が少なくなってきて… 凧さん、どうですか？

なぎ さみ しんさいご かぜききん ほっそく おくえん もくひょう  
凧: 寂しいけど、震災後にゆめ風基金が発足して「10億円が目標」、これはすごいと。

いなもと まんえん ひと ねん まんにん ねん おほ ふりこみようし  
稲本: 1万円くれる人を10年で10万人。「10年くらいすぐや」。それはすごく覚えています。振込用紙のつい

たりーフレットが配られたり。いろんな人が協賛しているカセット、あれもよく活用しました。

まきぐち  
牧口: あのカセットづくりはラジオ好きのえい ろくすけさん発案で、「関西の芸人の声を拝借してこい」と。

でも簡単にはいかない。かつら べいちょうさんはじめ、NHKに出演中のしょうふくてい にかくさんや

かみぬま えみこさん、オール阪神・巨人さんなどの楽屋を訪ねて、ボクが書いた趣意書の数行ずつを

んでもらったわけ。それをつないで一本のテープに。永さんの名前があったので完成したようなもの。

やはた ひと しえん おく こ かね かいがい  
八幡: いろんな人たちの支援があってなんとか「億」を超えるお金がプールされるようになり、海外にも

きゆうえんきん おく  
救援金を送るようになりましたよね。

まきぐち とうしょ はんしんあわじ かんが おく こ さいがい がいこく お  
牧口: 当初は阪神淡路のことしか考えてなかったけど、「億」を超えるとね、災害は外国でも起こるでしょ。

その国にも障害者がいるわけで、知らん顔でけへんなあ、と。これがホンマの国際化！

やはた ねん ひがしにほんだいしんさい ききん すく  
八幡: そうこうするうちに、2011年の東日本大震災。基金も少なくなってきて。

まきぐち とき きんき ていき よきんしゃ よ りそく はんぶん ていきょう おくえん  
牧口:この時から近畿ろうきんさんが定期預金者に呼びかけて利息の半分を提供してくれて1億円ほどに

ひがし にし きんき  
なった。東のカタログハウス、西の近畿ろうきんというわけ。

やはた しえん おも  
八幡:ところで支援のありかたについて思うことなどありますか？

いなもと いま かいごはけん ひび せいいつぱい かね わた とうほく とき かぜ  
稲本:今は介護派遣もやっているの、日々で精一杯。だからお金を渡すしかない。東北の時は「ゆめ風

ききん れんらく つうしん はっしん はんのう  
基金に連絡を」ということで通信を発信したりして、反応があるとつなげるとか。そんなことしかできません  
でした。

やはた かんしゃ ほんとう こじんしえん こま じん さぎょうしょ つう しえん  
八幡:それは感謝です。でも本当は個人支援ですよ、困っている個人を作業所を通じてどう支援するか。

なぎ せいど はざま ひと しえん だんたい  
凧:制度の狭間の人たちはやっぱり、支援からこぼれてしまいます。団体などがどこまでつかめているか  
が問題です。

いなもと さいがい お こま ひと ふだん こま ひと さいがい おき め み  
稲本:災害が起きて困っている人って普段から困っている人。災害が起きて目に見えてきたというのは、1  
995年の震災から変わらないテーマですよ。

なぎ さぎょうしょ ほか ひと ひと なん み しえん  
凧:だから作業所とも他ともつながっていない人、そういう人を何とか見つけてどう支援していくのか、そこ  
が問題。その人たちの居場所も、まだできていない。僕らの中でも悩みどころなんです。

八幡:当時、神戸は自立している障害者がとても多かったと思います。どのように支援していましたか？

いなもと あつ けんがい ひと けんがい ひと さ  
稲本:ボランティアを集めてましたね、県外からきている人も。でも県外の人はずぐに去ってしまうので、あ  
る時から地元のボランティアを集めてつなげていきましたね。

まきぐち きんきゆうじ へいじ わ わ かぜ ばあい きんきゆうじ たいおう しぼ  
牧口:緊急時と平時とは分けないと。分けにくいだろうけど。ゆめ風の場合は緊急時の対応で、それに絞  
って考えるってことかな。

いなもと おおさかしじゅうぎょういんろうそ ひと ひと ひと う だ  
稲本:大阪市従業員労組の人たちが「人と人のつながりはライフライン」と打ち出してくれましたけど、まさ  
にそうやと。

なぎ ぼく おも かぜ いま じぶん とき さぎょうしょ まわ  
凧:僕もそう思います。ゆめ風があって、今の自分があるから。あの時に作業所とかいろいろ回ったところ  
から続いているんやなあ、と。たまに電話しても「ああー凧さん」って言うてくれたり。

やはた けっせいとうじ はなし き しょしん だいじ おも きょう  
八幡:結成当時の話を聞いて初心を大事にしようと思いました。今日はどうもありがとうございました。

## リレー・エッセイ さいがい しょうがいしゃ だい かい 災害と障害者 第七十四回

### しょうがいしゃけんりじょうやくそうかつしよけん 障害者権利条約総括所見

おのうえ こうじ

ねんおおさか う こ ととき のうせい しょうがい しょうがっこう ようごがっこう しせつ す  
1960年大阪に生まれる。子どもの時から脳性マヒの障害があり、小学校を養護学校、施設で過

あと ふつうちゅうがく こうこう すす ねんおおさかしりつだいがく にゅうがくご しょうがいしゃうんどう かか  
した後、普通中学・高校へ進む。1978年大阪市立大学に入学後から障害者運動に関わる。1

ねんはんしんあわじだいしんさいじ しょうがいしゃきゅうえんほんぶ いちいん かつどう  
995年阪神淡路大震災時には障害者救援本部の一員として活動。

げんざい しょうがいしゃ にほんかいぎふくぎちよう ないかくふしょうがいしゃしきく  
現在、DPI(障害者インターナショナル)日本会議副議長、内閣府障害者施策アドバイザー

ことし がつ にち しょうがいしゃけんりじょうやく かん こくれん にほん しんさ おこ しんさ あ  
今年8月22～23日に、障害者権利条約に関する国連による日本の審査が行なわれました。審査に当

いいん にほん しょうがいしゃ じつじょう つた にほん めい こ しょうがいしゃ かぞく べんごし  
たる委員に日本の障害者の実情を伝えるために、日本から100名を超える障害者や家族、弁護士がジ

こくれんじむしょ おもむ わたし いいん しつもん こた せいふかいどう はんろんじょうほうなど  
ュネーブの国連事務所に赴きました。私も委員からの質問に答えたり、政府回答への反論情報等を

ていきょう  
提供しました。

がつむいか にっぽんせいふ たい そうかつしよけん はっぴよう しょうがいじ ぶんりきょういくちゅうしやうせい せいしんか  
9月6日には「日本政府に対する総括所見」が発表されました。「障害児の分離教育中止要請 精神科

きやうせいにゆういん はいし こくれん にほん はじ かんこく おお みだ ほう げんち いいん  
強制入院、廃止も 国連が日本に初めて勧告」との大きな見出しとともに報じられました。現地では委員

しつもん こた よるおそく さぎょう かいじやう いりぐち たくさん しょうがいしゃ て  
の質問に答えるために夜遅くまで作業をしたり、会場の入口で沢山の障害者がポスターやチラシを手に

いいん うつた いろいろ ひと がんば くろう そうかつしよけん ずいしよ はんえい  
委員に訴えかけたりしました。色々な人がやれることを頑張った、その苦勞が総括所見の随所に反映さ

にほんせいふ きび ないよう ふく ないよう しょうかつしよけん  
れています。日本政府にとっては厳しい内容を含む、インパクトある内容です。この総括所見のポイントを

しょうかい  
紹介します。

### しょうがいしゃけんりじょうやく しんさ 障害者権利条約の審査とは？

ちいき とも まな く はたら しゃかいづくり もと しょうがいしゃけんりじょうやく ねん  
地域で共に学び、暮らし、働けるインクルーシブな社会づくりを求めている障害者権利条約は2006年

こくれん さいたく にほん しょうがいしゃさべつつかいしやうほう せいいてい へ ねん しょうがいしゃけんり  
に国連で採択されました。そして、日本は、障害者差別解消法の制定などを経て2014年に障害者権利



じょうやく ひじゆん じょうやく まも こくさいてき やくそく じょうやく か  
条約を批准しました。「この条約を守ります」と国際的な約束をしたことになるので、条約に書かれている

ないよう まも じっし せきにん いま おお しょうがいしゃ にゅうしょせつ く え  
内容を守り実施していく責任があります。しかし、未だに多くの障害者が入所施設で暮らさざるを得ない

じょうきよう せいしんびょういん せかいいち すう おお ひと ちょうきにゆういん し とくべつしえん  
状況にあります。精神病院も世界一のベッド数で多くの人が長期入院を強いられています。特別支援

がっこう とくべつしえんがつきゆう まな こ ぞうか いっど たど じょうやく もと ないよう とお  
学校、特別支援学級で学ぶ子どもも増加の一途を辿っています。条約が求めている内容とはほど遠い

じょうきよう  
状況です。

しょうがいしゃけんりじょうやく かっこく まも こくれん しょうがいしゃけんりいんかい しんさ し く  
障害者権利条約を各国に守ってもらうようにするために、国連の障害者権利委員会が審査をする仕組

みが設けられています。政府からの報告と、障害者団体などからの報告を見比べながら、委員が審査す

る仕組みです。そして、その結果を元に、成績表にあたる総括所見が出されて、政府はそれを受けて

かいぜん せき  
改善していくことが求められます。

## だっしせつ きょういく いんぱくと そうかつしよけん 脱施設、インクルーシブ教育などインパクトある総括所見

にっぽんせいふ そうかつしよけん ぜんぶん た くに くら くわ ないよう  
日本政府への総括所見は全文75の題目、18ページと、他の国に比べても詳しい内容になっています。

それだけ日本の課題は山積みということです。権利条約の第1条～33条の全ての条文に渡って、「懸念

すべき事項」と「勧告」が盛り込まれています。

とく いんかい きんきゆうせい たか だっしせつ せいしんびょういん ふく きょういく  
特に、委員会が緊急性の高いテーマとしているのは、脱施設(精神病院も含む)とインクルーシブ教育

です。施設閉鎖も視野に入れて予算・人材・サービスを地域に重点的に振り分け、施設・病院からの地域

移行が進む仕組みの創設を求めています。分離教育を中止しインクルーシブ教育の権利を実現していく

ような国の計画をつくること、地域の学校を希望した場合に入学拒否できないようにすること、合理的

配慮が得られるようにすること、そして先生達がインクルーシブ教育について研修することも求めています。

これらの勧告に至るやりとりで、とても印象に残るシーンがありました。

「相模原障害者殺傷事件を経て、このような施設で暮らす人が多いことについて 考え直したことはあるか。

今後どのような資源配分を行うのか、脱施設化、地域への移行をどう推進していくか？」

知的障害当事者のロバート・マーティン委員からの質問でした。彼自身子ども時代につらい施設入所の

経験があり、ピープルファースト運動を通じて2006年にニュージーランドの施設閉鎖を実現した人です。

私たち日本の障害者の声が届き、日本社会の問題を鋭く突かれた瞬間でした。しかし、政府からの回答

は「日本の施設では花見のシーズンには、施設の外や中で桜を見ることができる」といった的外れなもの  
でした。

こうしたやりとりを通じて、日本政府に対して根本的な変革を求める必要性を委員が感じ取った結果が、

総括所見の内容に反映されたのでした。

他にも、優生保護法の全ての被害者への謝罪・補償や障害女性・子どもの複合的差別撤廃に対する取

り組み、国内人権機関の創設や障害者政策委員会の強化といったことを勧告しています。また、防災に

ついても、「危険な状況や人道的緊急事態において提供されるシェルター、仮設住宅、その他のサービ

スが、年齢や性別を考慮した上で、利用しやすく、障害者を含むものである」ようにすること等を求めています。

どの項目を取っても的確な指摘と力強い勧告が述べられています。総括所見を追い風に、誰もが安心

して暮らせる地域社会をつくっていきましょう！

10月に永岡文部科学大臣が「国際総括所見」を無視する発言をしたことに対し、ゆめ風基金も真のイン

クルーシブな社会現実のため理事の総意で意見書を提出しました。

## 重要

2022年度確定申告で「寄附金控除」をお考えなら

クレジットカードでのご寄付-領収日について-

2022年度の確定申告で「寄附金控除」をお考えの方にお知らせです。

クレジットカードでご寄付をいただいた場合、領収書の日付はクレジットカードでの決済日ではなく、寄附

金「カード決済代行会社」からゆめ風基金へ入金された日付となります。

原則、月末までの決済は翌月20日に当基金へ入金されます。

2022年12月1日以降にご寄付を頂いた場合、領収書の日付は2023年1月20日となりますので、

確定申告で寄附金控除をご希望の方はご注意くださいようお願いいたします。

(クレジットカードによる2022年12月の寄附金控除手続きは2023年ではなく2024年になります)

2022年12月付けの領収書をご希望の方はお手数ですが「郵便振替」にて、12月30日中にお手続き

くださいますようお願いいたします。

**コロナも災害！ゆめ風基金は支援します。**

以前にもお伝えしていましたが、ゆめ風基金では新型コロナウイルス感染により、運営に支障をきたした場合に

も、自然災害による被災をした場合と同等に扱い、支援を行います。

対象となるのは新型コロナウイルス感染によって事業収入が減少し、運営が困難になった障害者事業所です。

救済金の申請については、ゆめ風基金のホームページより、「障害者防災」のページを開いて、そこに

ある「救済申請書」をダウンロードのうえご記入いただき、メール、FAX、郵送等でゆめ風基金までご送付  
ください。

ご不明な点がある場合はメールか電話で直接ゆめ風基金までお問い合わせください。

## 新人挨拶

初めまして。9月よりゆめ風基金の事務局スタッフとなりましたうえの かよと申します。前職は、大阪市内

の障害福祉事業所(就労系)のスタッフとして働いておりました。今後は、今までに培った繋がりの経験

を活かす事が出来ればと思っております。至らぬ点もあると思いますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

ねん がつ ふくしまけんおきじしん  
2022年3月 福島県沖地震

てんさい じんさい  
天災・人災なくそ！まげねど！ ゆめ風基金にありがとう！

しゃふく しょうがいふくし じぎょうしょ  
(社福)あおぞら 障害福祉サービス事業所もぐもぐ

しせつちよう せんだいし  
施設長 もろはし さとる[仙台市]

わたし はい たてもの ねんしゆんこう ねんまえ たてもの てつきん どうぜん  
私どもが入っている建物は、1979年竣工で、43年前の建物。鉄筋コンクリートではあるが当然ボロボロ。度重なる余震の揺れも大きく、天井からコンクリート片が落ち、雨漏りもしている。市の建物であるが、後付けのエレベーターは11年前に地震で壊れ、修理費用もなく多額の負担になると直していない。その建物が、余震で、幾度となく揺さぶられ、傷みも進行している。その中で、18年前から、相談支援事業所「てれんこ」と、喫茶とシューマイの製造販売をメイン作業としている障害福祉サービス事業所「もぐもぐ」を運営している。

ねん がつ にち みやぎ ふくしま さいだいしんどう きょう じしん つつ ことし がつ にち じしん だいじ ちょうり  
2021年2月13日の宮城と福島で最大震度6強の地震に続く、今年3月16日の地震で、大事な調理器具、IHヒーターとオーブンが落下・破損し、使用不能となった。運営厳しく、捻出できる金もなく、途方にくれた。友人N氏の勧めで、「ゆめ風基金」にSOS。お助けを頂き、たいへんありがたく思っています。

ひがしにほんだいしんさい できき もど しょくば そと りようしゃ ちちおや けいたい  
東日本大震災では、出先から戻った職場の外で、利用者の父親のワンセグ(携帯テレビ)で、かいがんぞい つなみ ふる ぼうぜん み さむ みちか ゆうじん ちじん りようしゃ なた  
海岸沿いの津波を震えながら呆然と見た。寒かった。身近な友人、知人や利用者を亡くした。この二つの大地震の自然がもたらした負の体験は、ちょっとした揺れにも怖気づいてしまうように大概の人々の脳に沁みついてしまっているようだ。今回の2回の福島県沖の地震も怖いものだったが、奮い立ちもしたような？

このような大災害を「乗り越えて」、私どもの今日がある。

じぎょうけいぞくけいかく びーレーびー まな さくせい しょくいん けいけん かくご きそ ほんとう  
「事業継続計画(BCP)」を学び、作成してはいるが、職員の経験をもとにした覚悟を基礎にした本当に活きる計画になっているのだろうか？何か観念のもの、空疎なもの、「お役所的な」こなし仕事、指示待ちの形式的な計画になってはいないかと点検が必要だと考えている。とりわけ、旧態依然の社会福祉法人の衣を着た私どもこそが、問われるべきである。仲間と共感をしあう、自立的で、自由な、幅を持った助け合い、相互の支えあいが必要だと考える。今回のゆめ風基金の支援は、そうした温かみとやさしさを頂いたものと思う。今後、約束はできないけれど、いつの日か、そうしたメッセージを私たちも皆さんとつながりつつ発することができたらと思っています。

かさ がさ  
重ね重ね、ありがとうございます。(2022・10・21)

いただ だんたい  
カンパを頂いた団体 2022/7-2022/9

みせ ぼきんばこ お がいとうぼきん あつ  
お店に募金箱を置いてくださったり、街頭募金やバザー、イベントで集めてくださったりしています。

ほんとう きさいも もう やく  
本当にありがとうございます。もしも記載漏れがありましたら申し訳ありません。

おおさかし  
7/1 パルすみのえ(大阪市)

- 7/5 すまいる<sup>さぎょうしょ せんだいし</sup>作業所(仙台市)
- 7/6 つばい <sup>しょうてん なごやし</sup>のりお商店(名古屋市)、<sup>おおふなとし</sup>さんりく・こすもす(大船渡市)
- 7/9 <sup>ほんだきかく</sup>本多企画(オオタスセリ)
- 7/11 ネット<sup>きくがわし</sup>きくがわ(菊川市)
- 7/20 <sup>さかまちしんしんしょうがいじしゃ</sup>坂町心身障害児者<sup>かい あきぐん</sup>ゆずりはの会(安芸郡)
- 8/4 <sup>ひがしやまとしょう</sup>東大和障がい<sup>ふくし</sup>福祉<sup>ひがしやまとし</sup>ネットワーク(東大和市)
- 8/5 <sup>かんせいがくいんせんりこくさいほごしゃかい</sup>関西学院千里国際保護者会<sup>みのおし</sup>(箕面市)
- 8/16 <sup>じっこういんかい</sup>みのおチャリティコンサート<sup>みのおし</sup>実行委員会(箕面市)
- 8/22 <sup>おかやま</sup>岡山マインド「<sup>くらしきし</sup>こころ」(倉敷市)
- 8/24 <sup>えふえむじー</sup>F M G(港区)<sup>みなとく</sup>
- 8/29 <sup>やつきよく まつやまし</sup>なごみ薬局(松山市)
- 9/2 ABC 研究所(北九州市)
- 9/14 <sup>きかく</sup>バリアフリーコンサート企画
- 9/15 <sup>わだいこれん</sup>和太鼓蓮 <sup>とうきょうと</sup>うてな(東京都)
- 9/16 いーはと一ぶ(さいたま<sup>し</sup>市)
- 9/26 とくゆうじ(南松浦<sup>みなみまつらぐん</sup>郡)
- 9/27 <sup>ちりょういん さかいし</sup>しばやま治療院(坂井市)
- 9/29 レインボーアグリ(西予<sup>せいよし</sup>市)

## <sup>じむきよく</sup>事務局の動き<sup>うご</sup>

2022年7月から9月の動きを一部ご紹介します。<sup>いちぶ</sup> <sup>しょうかい</sup>

<sup>まいしゅうげつようび</sup>毎週月曜日 <sup>じむきよく</sup>事務局会議、<sup>かいぎ</sup>毎週金曜日 <sup>まいしゅうきんようび</sup> WEB変更に関する会議 <sup>うえぶ</sup> <sup>へんこう</sup> <sup>かん</sup> <sup>かいぎ</sup>

- 7/1 <sup>いばらきししのめちゅうがっこうこうえん</sup>茨木市東雲中学校講演
- 7/7 「えいさん！七月七日七回忌 <sup>ななかいき えい</sup>永さんと戦争と平和」参加 <sup>そう へいわ さんか</sup>
- 7/11 Fridays For Future Tokyo <sup>しゅざい</sup>取材
- 7/12 <sup>ごうきねんたいだんしゅうろく</sup>100号記念対談収録
- 7/17・24 <sup>しょうがいしゃぼうさい</sup>障害者防災リーダー <sup>ようせいこうざしゅうろく</sup>養成講座収録
- 7/19 <sup>ちゅうがくせい</sup>中学生 <sup>う あ</sup>プロジェクト打ち合わせ
- 7/20 <sup>りじかい</sup>理事会
- 7/22 <sup>さいがいしえん</sup>おおさか災害支援ネットワーク(O S N) <sup>おえすえぬ ていれいかい</sup>定例会
- 7/23 <sup>じゅうどほうもんかいご</sup>重度訪問介護サービス利用者等 <sup>りようしゃとうかいじよじよせいきんべんきょうかい</sup>介助助成金勉強会
- 7/27・8/24・9/28 <sup>じぎょうけいぞくけいかく けんきゅうかい</sup>BCP(事業継続計画)研究会
- 7/28・8/31 <sup>ぶんかこうりゆうさいう あ</sup>ポジティブ文化交流祭打ち合わせ
- 8/18 <sup>おおさかだいがくしゅざい</sup>大阪大学取材
- 8/24 <sup>しんしよくいんめんだん</sup>新職員面談
- 8/25 <sup>とよなか</sup>豊中サポートネットワーク <sup>こうえん</sup>講演
- 8/26 <sup>にんていえぬびーおーほうじんこうしん</sup>認定NPO法人更新のための <sup>おおさかしちょうさ</sup>大阪市調査
- 8/30 <sup>おえすえぬようえんごしやぶかい</sup>OSN要援護者部会
- 9/1 <sup>にほんふくし</sup>日本福祉のまちづくり学会 <sup>がつかいさんか</sup>参加
- 9/3 <sup>かぜ あ</sup>ゆめ風で会いましょう in <sup>とうきょうかいさい</sup>東京開催
- 9/3 <sup>しょうがいしゃせいじ</sup>障害者政治ネットワーク <sup>さんか</sup>参加
- 9/4 <sup>め かいこうえん あかし</sup>眼の会講演(明石にて)
- 9/10 <sup>いばらきしちょうじゅかいご かがこうえん</sup>茨木市長寿介護課講演

9/11 せきずいそんしやうしやきやうかい きんきとうかい おおさかたいかいこうえん  
脊髄損傷者協会近畿東海ブロック大阪大会講演

9/14・15 つうしん ごうはっそう  
通信100号発送

9/21 つうしん ごうへんしゅうかい いぎ  
通信101号編集会議

9/23 みずしろこうこう ぼうさいきょういく  
水城高校インクルーシブ防災教育プロジェクト

9/26 ぶっしぶかい  
OSN物資部会

かいけい べっし  
会計別紙

かぜ かぜ ろっこう かくち かぜ  
そよ風、つむじ風、六甲おろし/各地からの風だより/2022.7-2022.9  
[2022年もあたたかいご支援、本当にありがとうございました]

とうほく きよせしほかすうめい  
▼東北へ(清瀬市他数名)

すこ おだ しあわ かん せかい せつ ねが いわくにし  
▼少しでも穏やかにそして幸せを感じられる世界になることを切に願っております(岩国市)

むり い しょうがいねんきん じゆきゆう おく おおさかし  
▼無理と言われていた障害年金を受給できるようになりました。わずかですがお送りします(大阪市)

がつなのか えい ななかいき つな いま よ なん  
▼7月7日、永さんの7回忌ですね。いつまでも繋がっていたいです。今の世を、何とおっしゃるでしょうか

かわさきし  
(川崎市)

はたけ あめ ふ あか ひざ つよ や だてし  
▼畑は雨が降らないので赤じそが日差しで強く焼けました(伊達市)

さい きねん こころ さえきし  
▼88才の記念に心ばかりです(佐伯市)

ぶつか あ な ぜ ねんきん さ しずおかし  
▼物価こんなに上がり、何故年金が下がる(静岡市)

えい しちかいきらいぶ  
▼永さんの七回忌Liveからです。

しゆじん さいわたし さい ある げんき みなさま からだたいせつ  
▼主人88才私80才になります。永さんの、みちのくシャツで歩きそれなりに元気です。皆様お体大切に

こがねいし  
(小金井市)

おそ いしかわけん し  
▼遅くなりましたが石川県へ(さいたま市)

じんどうてきしえん しょしん きほん わす ひがしおおさかし  
▼人道的支援を！初心(基本)を忘れずに(東大阪市)

▼ウクライナ戦争の一日も早い停戦を願っています(静岡市)

▼現在は地震多発、水害也多発、ゆめ風の存在が増々重要と痛感です(尼崎市)

▼身体障がいの方のお手伝いをしていますが、周りからは「金を貰っているのか」とばかり言われます。こ

の風潮はどうにかならないのか？(町田市)

▼北陸・東北の水害ひどくて胸が痛みます。しかし報道が少ないように思うのは気のせい…？(豊島区)

▼7/31箕面、8/1京都でのコンサートの収益金です(箕面市)

▼ゆめ風基金の活動、楽しいです(大東市)

▼私、9月にがん手術します。生きている限り、送ります(世田谷区)

▼体調悪くて自宅入院です。少額ですみません(習志野市)

▼おだやかな日々を！祈らずにはられません(杉並区)

▼平和がありますように、支え合えますように(川崎市)

▼80才過ぎました。暑さ・コロナ、こたえます。ほんの少しですが、お役に立ててほしいです(海部郡)

▼「第17回ゆめ風であいましょう」本当に楽しかった。小室等さん、ゆいさんの歌をもう少し聴きたかった

(川崎市)

▼切手代です(斜里町)

▼とにかく続けること、楽しみながら続けること。これが大事!!(奈良市)

▼杉本章さんの詩、いいですネ(中津市)

▼コロナ禍の中奮闘しておられる医療職、作業所職員に感謝しています(高槻市)

▼昔、牧口さんの足にさわった子供達が「あたたかい！」と驚きました。生きてるんだよ動かなくても。

と言われたのが印象的でした(大竹市)

▼通販生活で知った「ゆめ風基金」。これからも細々と応援させて下さい。年金暮らしで少しですが



ふなばしし  
(船橋市)

▼関東豪雨の被害から7年がすぎました。忘れないためにも送金させていただきます(常総市)

▼大変なことが沢山ありますが、笑顔を忘れない、何気ない日常を守っていききたいですね(八尾市)

▼100号、熱く重みのある内容でした(横浜市)

▼戦争なんて何ひとついいことなんかありません(武蔵野市)

▼あたたかなバトンが次々に手渡されて笑顔がいっぱいひろがりますように(大阪市)

ゆめ風ブログ(<https://yumekazek.com/blog/>)にも掲載しています

へんしゅうこうき  
編集後記

今年も、大変お世話になりました。2022年も災害の多い年であり、更にはロシアのウクライナ侵攻にもシヨ

ックを受けました。彼の地の障害者はどうしているだろう、と気になります。いろんな課題を抱えたまま

新年を迎えますが、みなさまにとって2023年が良き年でありますよう、事務局一同心からお祈りしていま

す(長崎)

ゆめ風ネットワーク連絡先[FAX は 06-6321-5662 迄]

さっぽろ 011-817-9080 秋田 018-846-3916 みやぎ 0220-44-4171 いわき 0246-68-8925 三条 0256-34-2448 JDS(東京)03-6907-1824 東大和 042-567-2622 立川 042-525-0879 横浜港北 045-431-4070 千葉 047-485-1245 埼玉 048-738-4593 上田 0268-39-4568 静岡 054-288-6068 きくがわ 0537-35-8303 愛知 052-841-9888 名古屋 052-745-1001 岐阜 058-388-1864 加賀 076-243-6786 富山 076-444-3753 福井 0776-52-6464 三重 059-202-5782 滋賀 077-543-2844 JCIL(京都)075-671-8484 奈良 0745-42-2919 和歌山 073-472-6731 伊丹 072-779-1771 ひょうご 078-642-0142 はりま 0792-84-4668 淡路島 0799-70-6145 明石 078-913-5315 しまね 0854-83-2183 かがわ 0877-73-4177 愛媛 089-924-8533 まつやま 089-986-3245 今治 0898-54-4365 徳島 088-679-8225 岡山 086-697-0206 ひろしま 082-294-4185 尾道 0848-38-9550 やまぐち 0833-76-0550 福岡 094-962-6003 大分 097-597-5315 宇佐 0978-32-3365 ながさき 0957-46-3858 諫早 0957-28-3800 さが 0952-74-4568 熊本 096-366-3329 みやざき 0985-31-4800 かしま 0994-63-8839 沖縄 0988-90-4890